

中体連夏季大会を終えて～生徒の作文より～

この中体連でとても大切なことが分かりました。校長先生は応援で20%プレーが上がると言っていました。けれど自分は20%以上プレーが上がったと感じました。プレーしている時は気付くことができなかったけれど、振り返ると普段一発で決められなかったバントを決められたり、隙をついて走ることができたのは応援のおかげだと思います。

～ 中 略 ～

この中体連では前の新人戦で学んだ、強いチームは競技以外のこともしっかりやることを実践しました。勝った後の整備や審判へのあいさつなどを意識しながら試合に取り組みました。二回戦で負けてしまったけど、学ぶことがたくさんあったので、この学んだことを日々の生活や受検で生かしていこうと思います。

野球部 澤田匠生

1日目は予選、2日目は決勝ということで、予選は1位通過だったものの、決勝でも自己ベストと目標の記録を達成できず、自分の努力不足と自分の未熟さを感じ、情けなくなりました。しかし、仲間からたくさんの応援と励ましの言葉により、試合前緊張して自信をなくしていましたが、前向きに考えることができました。校長先生がおっしゃっていた「応援されることで、選手の運動量が20%向上する」とは、まさにこのことだと実感しました。私もたくさんの応援を受けたので、その倍以上の応援を仲間にししました。自分の応援で、少しでも自信や競技力がアップしてくれればいいなと思います。

最後の中体連、目標を達成することができなかったけれども、仲間と共に切磋琢磨し合い、本当に頑張ってもらって良かったです。残りの1ヶ月で今までの努力を無駄にせぬよう、これでもかというほど鍛錬を積み、笑顔で終えたいです。陸上競技は個人競技ではあるけれど、自分のことだけでなく互いに励まし合い、一緒に自分の目標を達成させたいです。強い選手は応援される選手であり、挨拶や礼儀がしっかりとしている。私は誰からも応援される選手になり、今まで多くの人に支えられてきたのだから、絶対に無駄にせず、「全国大会出場」という大きな目標を絶対成功させます。

(一部抜粋)

陸上競技部 田中歩



今回選手として出場した多くの生徒が、校長先生が壮行式でお話ししていた「応援で20%パフォーマンス力がアップする」ということを実感したと書いていました。全校応援、仲間の応援、そして保護者の応援を力にして、全力を出し切った生徒が多かったようです。また、自分も応援したいという気持ちをもって、仲間の応援に力が入ったという選手も多かったです。甲田中全体がこの中体連を通して「絆」を深めることができたのではないのでしょうか。

この学んだことを次は何につなげますか？一人一人じっくりと自分と向き合い、次の目標に向かって努力していきましょう。

